

# 経済情報：2023年1-3月期の 実質GDP成長率（1次速報値）

2023年5月17日

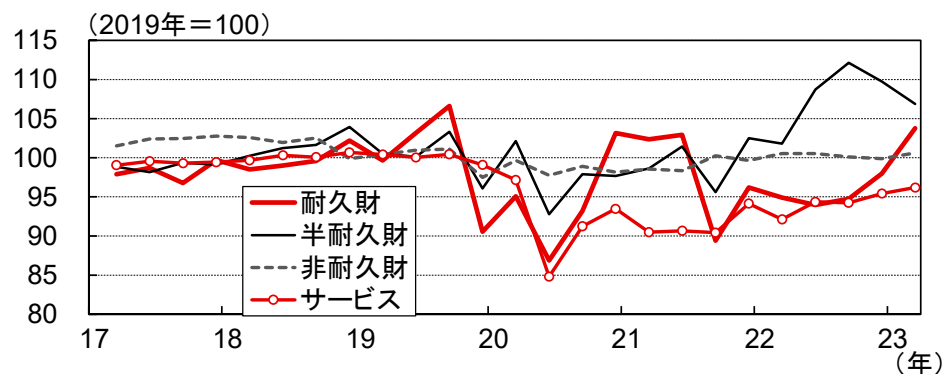
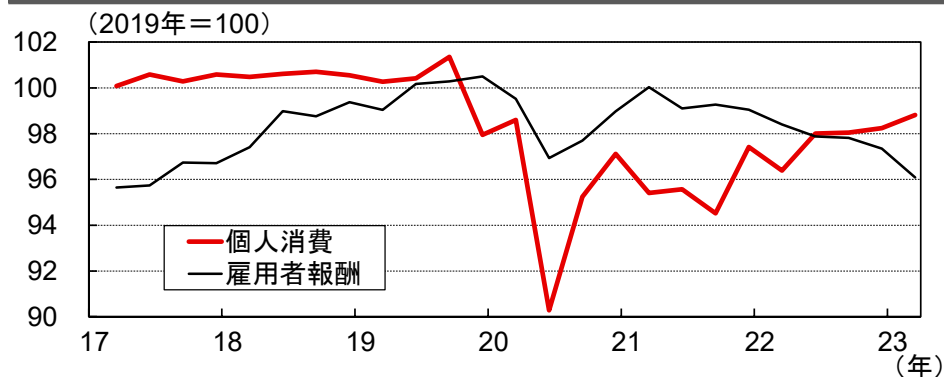
三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室



## 2. 内需項目

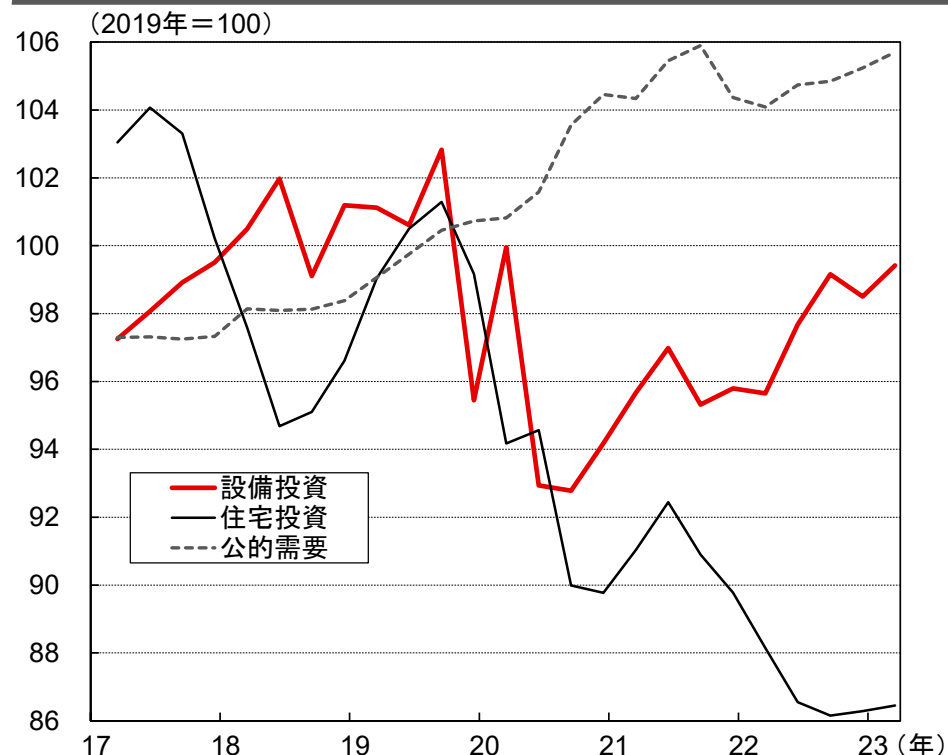
- 個人消費は前期比年率+2.4%と4四半期連続で増加。物価高により実質雇用者報酬は減少したものの、自動車の供給制約緩和が『耐久財』を押し上げたとみられるほか、新型コロナウイルスに係る制限が緩和されるなか『サービス』も回復。
- 設備投資は同+3.8%と2四半期ぶりに増加。企業業績が好調であったことに加えて、日銀短観3月調査において企業の設備不足感は依然強いことが示されており、設備投資は増加基調を維持。
- 住宅投資は同+0.7%と2四半期連続で増加したものの、資材価格高騰による住宅価格上昇もあり、回復ペースは鈍い。
- 公的需要は同+1.4%と4四半期連続の増加。補正予算の効果により、公共投資が高い伸びとなった。

実質個人消費・実質雇用者報酬、財・サービス別実質個人消費の推移



(資料)内閣府統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

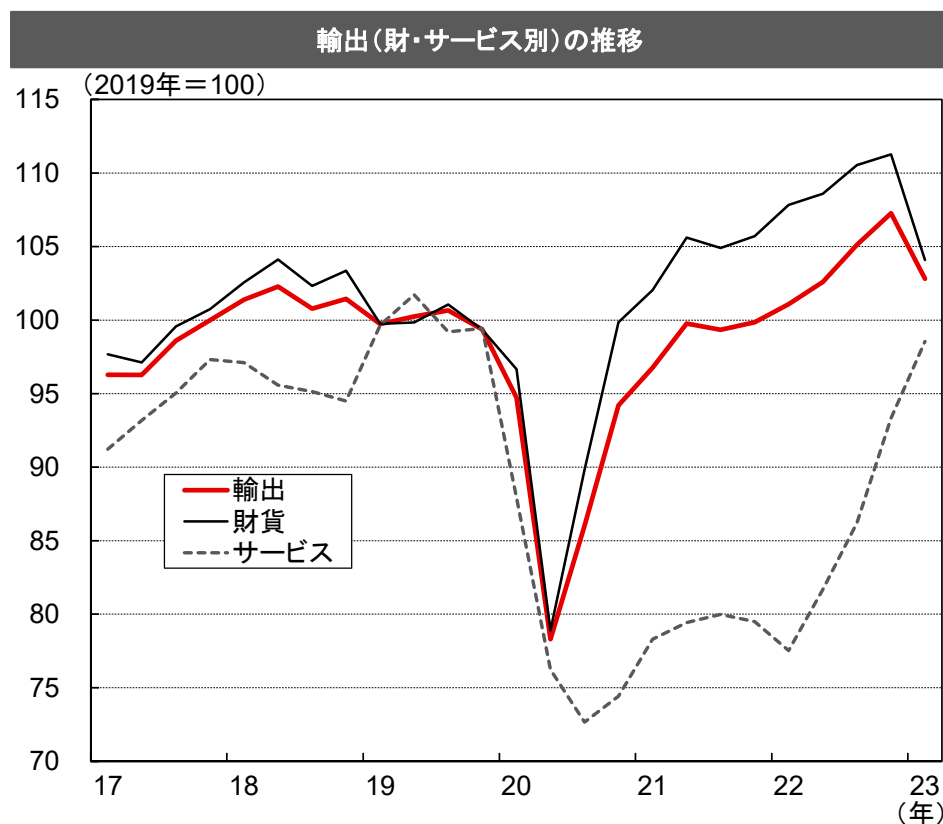
その他の内需項目の推移



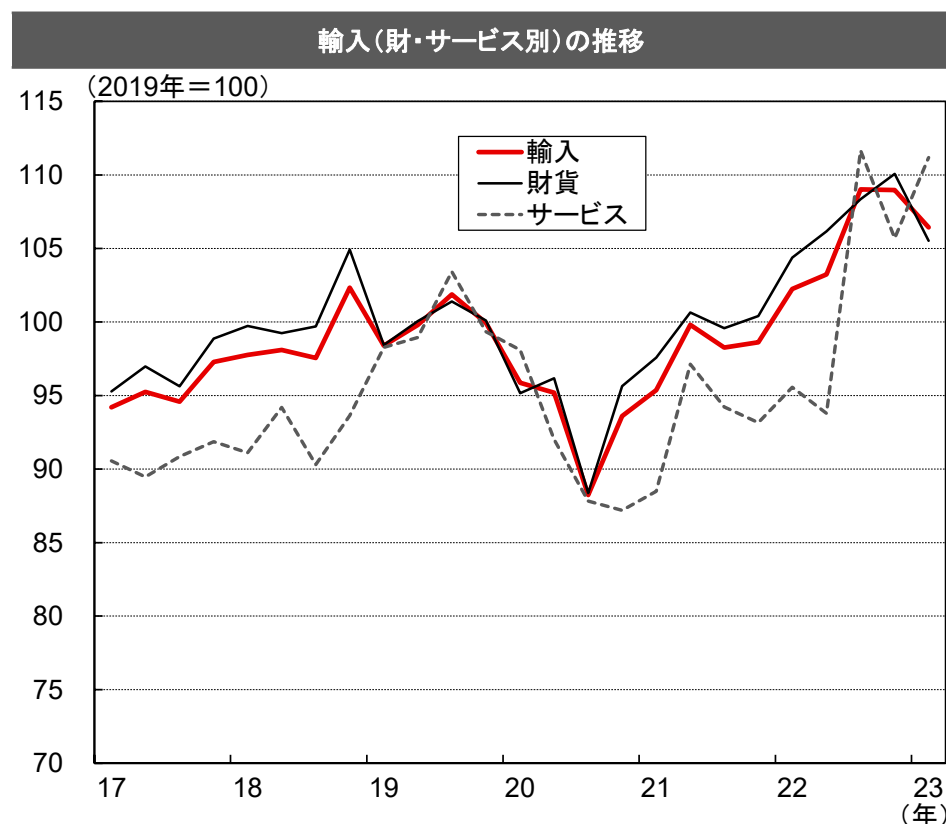
(資料)内閣府統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 3. 外需項目

- 輸出は前期比年率▲15.6%と6四半期ぶりに減少。水際対策の緩和により『サービス』の増加は続いたものの、中国における感染拡大もあり『財貨』が大きく減少。
- 輸入は同▲9.0%と2四半期連続の減少。海外経済減速により生産活動も前期に比して低迷しており、『財貨』が減少。
- 結果として、純輸出(輸出－輸入)の寄与度は同▲1.3%ポイントと2四半期ぶりのマイナスに転じた。



(資料)内閣府統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成



(資料)内閣府統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。  
ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できる  
と思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。  
内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により  
保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室  
〒100-8388 東京都千代田区丸の内2-7-1

照会先：矢吹彩            e-mail: sai\_yabuki@mufg.jp